

県内経済の動き

概況

〔2021年12月～2022年2月の動き〕

新型コロナに加えロシアのウクライナ侵攻による新たな懸念

鉱工業生産指数（12月）は2カ月連続で前年同月上昇、通関輸出額（1月 細島港）は2カ月ぶりに前年同月比減少した。百貨店・スーパー販売額（1月 全店ベース）は4カ月連続で前年同月比増加、「軽」を含む乗用車の販売台数（2月）は6カ月連続で前年同月比減少した。新設住宅着工戸数（1月）は2カ月ぶりに前年同月比増加し、公共工事（2月 保証対象請負総額）は2カ月連続で前年同月比増加した。有効求人倍率（1月）は前月比+0.01ポイント上昇の1.38倍で、2月の企業倒産は前月比1件減の0件、負債額は同80百万円減の0円となった。

ロシアのウクライナ侵攻により、原油、小麦、半導体をはじめ、さらなる物価上昇による経済への影響が想定される。新型コロナと併せ注視する必要がある。